

記入日 2024年 10月 31日  
助成団体名 水俣・写真家の眼

## 2023年度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

企画テーマ	組織運営基盤の強化
取り組み実施期間または日時	2023年10月～2024年9月

## 【取り組み目的】

一般社団法人水俣・写真家の眼は、2022年4月に水俣を撮影した写真家の写真の活用と長期一括保存を目標に設立した団体である。

現状では寄付を助成金で活動資金を賄っているが、行政系の助成金の仕組み上、人件費や事務所家賃の補助は限定的であり、事務局3名分の賃金さえも十分ではない状況が続いている。

写真の保存と活用のための事業は地球環境基金の助成を受けて

法人の運営に必要な不可欠な会計業務を行うパート職員の賃金と事務所の家賃を「水俣・熊本みらい基金」で充てさせていただき、水俣を記録した貴重な写真の保存と活用のための組織基盤の強化を行った。

## 【取り組み内容と成果】

## ・会計職員の雇用

上記のような状況のため、下半期は職員への賃金が十分に支払うことができるか見通しが立っておらず、せめて会計担当の職員の賃金だけでも確保する必要があった。本助成金を充てさせていただき、会計業務の不安なく他の活動に従事することができた。実際には1ヶ月に1度にまとめて作業してもらったことで想定していた金額よりも少ない支出で会計業務を回すことができた。

## ・事務所の確保

事務所は、写真家のポートフォリオ、パンフレット、フィルムなどの資材や資料をおき、事務作業を行うために民家の敷地内の1棟を借りている。事務所の家賃を本助成金を活用させていただき、場所の不安なく活動を行うことができた。しかし、写真整理や資材保管のために十分な広さが確保できていないだけでなく、インターネット接続が不安定などの課題は残っており、可能であれば継続的な活動のための拠点を整えたい。

## 【備考欄】